

「まなびあい」から
「まちかどほっと歓事業」へ

住民といっしょにサポート

明日 (tomorrow) もっと にっこり

平成28年6月23日

香川県綾川町 地域包括支援センター

社会福祉士 増田 玲子

香川県
KAGAWA



岡山県

しょうど
小豆島

土庄町

小豆島町

井島

豊島

小豆郡

土庄町

直島

直島町

男木島

大島

ひつし

櫃石島

香川郡

文木島

広島

本島

与島

手島

小手島

丸亀市

宇多津町

綾歌郡

坂出市

丸亀市

高松市

木田郡 三木町

綾川町

えがお

綾歌郡

オリーブ



がわ市



枝たれ桜

三徳市

観音寺市



町人



滝宮天満宮

高松



うどん県香川県

綾川町の現状（H28年3月末）

- 人口 24,657人
- 面積 109.67km²
- 65歳以上人口 8,116人
- 高齢化率 32.9%
- 要支援・要介護認定者数 1,729人
- 認知症サポート医 1名
- 物忘れ外来 2ヶ所
- グループホーム 2ヶ所（36床）
- 小規模多機能 1ヶ所
- 特養 2ヶ所
- 老健 1ヶ所
- 地域包括支援センター 1ヶ所
- 認知症地域支援推進員4名



綾川町の認知症対策事業の一覧

認知症ケアパスの作成・普及 →平成27年9月全戸配布

認知症予防と認知症相談の実施 →平成27年1月開始

認知症初期集中支援チームの設置 →平成28年度中設置予定

認知症地域支援推進員の配置 →4名

認知症サポーターの養成 →1245名

介護予防サポーター
388名
活動率約50%

地域での認知症地域支援の推進 →学習療法開始、介護予防サポーター活動、まちかどほっと歓事業

認知症高齢者の認知症ケアの質の向上 →研修会、講演会の実施

認知症カフェ事業の実施検討 →いきいきサロン、いきがいデイサービスへの参加促進

認知症地域支援推進員として 重点的に取り組んでいること

その1：本人の経過にそった支援の強化（特に初期段階）

1. MC I の初期把握

認知症の理解、気づきのスコア化→初期把握シートを
医師会と共同で作成中

2. 初期段階の方の受け皿の拡大

学習療法の開始、サロンの立ち上げサポート、生きがい
デイへの参加を後押し、家族の会等の情報提供など

3. 個別のケースへの丁寧な対応

本人・家族・ケアマネへの寄り添い、介護保険サービ
スと地域の連携、地域ケア個別会議の開催・参加、
多職種症例検討会の定期開催(医師会と共同)

4. 身近で支える認知症サポーター養成講座の開催

郵便局、中学校など新規に依頼

認知症地域支援推進員として 重点的に取り組んでいること その2

その2：人を育て、活動を支え、それらをつなぐしくみをつくる



住民力

- まなびあい講座
- 介護予防サポーター活動 **388名**

活動支援

- 介護支援ボランティア
- ポイント制の拡大 **272名**

H28.3月末現在の数

体制作り

- まちかどほっと歓事業
- 徘徊高齢者ほっと歓メール配信 **285名**



人、活動、事業をつなげながら発展させていく→活きたケアパスを育てる

内 容

I 介護予防サポーターの養成及び活動支援

はじめる

II 介護支援ボランティア制度の導入

広げる

III 高齢者等声かけ見守り

「綾川町まちかどほっと歓事業」の展開

定着する

IV わが町の認知症ケアパスとその活用

考え、動く

V 認知症施策における医師会との取り組み

I 介護予防サポーターの養成 及び活動支援

はじめる

介護予防サポーター養成への経緯

- 平成18年町合併とともに地域包括支援センター開設
- 予防給付の開始は10月のため、半年間は予防給付開始準備やセンター運営等について職員内で検討。
- 地域の高齢者等全体を支援するためには、職員だけでは困難。
- 認知症地域支援においても町で課題となっていたことが多くある。

認知症地域支援に関する町の課題

○認知症に関する理解不足

○閉鎖的

○関係ない...という意識

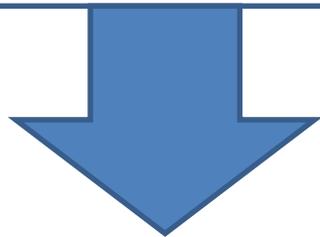
- ・予防には熱心だが

- ・自分と認知症の人とを線引きしてしまう・・・

- ・介護保険利用すると違う人という見方

○介護保険を利用すると、つながりがきれる

○サービスを利用しているても、本人がいい姿ではない



○制度・事業を進めていく中で
住民の関心を高め、関わってほしい

○高齢化というけれど、元気な人もいる
この人たちが理解を高めてくれば
素晴らしい力になる！



綾川町で暮らす様々な人たちを大切に、
一人ひとりの意識、力を引き出す、活かす

ぜひ、地域の**住民の力**も活用して、**一緒にまちづくり**
を目指そう！となる。

介護予防サポーター養成

まなびあい講座の企画へ

- 住民に介護や介護予防などの知識を持ってもらおう。
- それよりも、顔を合わす回数も多くしたほうが負担も少なく、関係性も深まるのではないか。
- 月1回、8回コースで開始（平成18年6月～）
- 6回以上受講した方に町長よりサポーターとして委嘱状を渡すこととした。
- ねらいは



☆介護予防の意義や知識の普及の協力

☆ひとり暮らしの高齢者への声かけ・見守り

☆認知症高齢者やその家族への声かけ・見守り

まなびあい講座 プログラム



期待されています
元気をもらいあって **地域力**
住民力の発揮を

27年度
**綾川町 介護予防サポーター養成講座
まなびあい講座**

申込みはお電話で
×切：6月12日(金)

この講座は、介護予防サポーター養成をすることを目的とし、いきいきとえがおで綾川町に定住していくために、高齢になっての生き方・過ごし方を学び、ご自身や家族の介護予防、さらには地域での支えあいについて学ぶ講座です。

場所：綾川町総合保健施設えがお 2階

申し込み・問い合わせ先
綾川町地域包括支援センター
(えがお内)

大原先生より
介護保険制度講座

高齢者になって、
認知症になっても
だいじょうぶなまちづくり

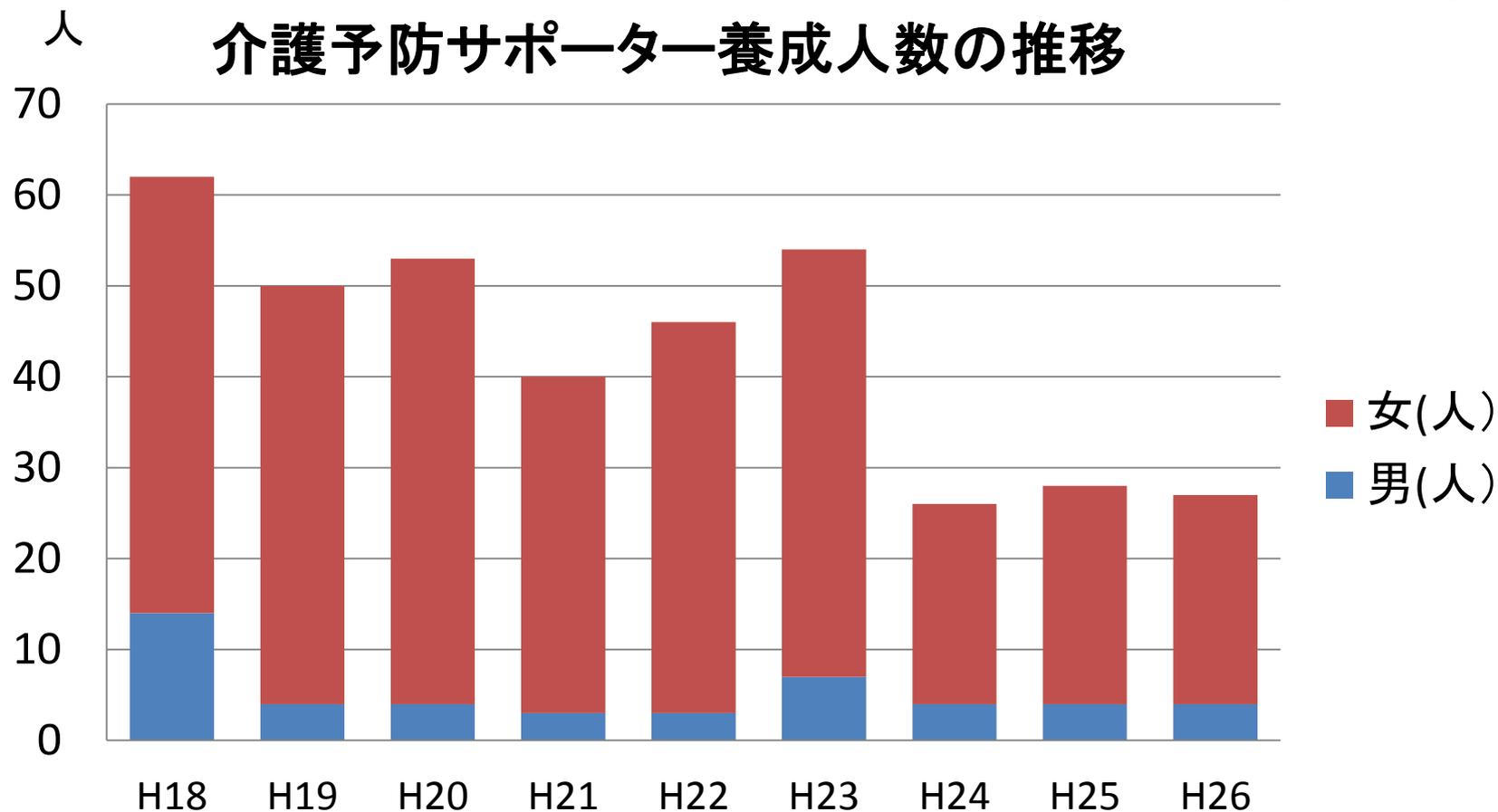
認知症への

とき	テーマと講師	内容
7月2日(木) 13:30~15:30	開講式 みんなで支える介護保険制度 陶病院 院長 大原昌樹 先生	介護保険のしくみや介護が必要になる原因や予防を学びます。
8月3日(月) 9:30~11:30	介護予防実践 その1 高齢者の食事と栄養・健口生活 町管理栄養士・歯科衛生士 青木まゆみ先生	おいしく食べるため工夫を管理栄養士から、かむ・飲む・食べる機能の秘密を歯科衛生士からお聞きします。
9月16日(水) 14:00~15:30	高齢者のこころとからだ～医師からのメッセージ～ 認知症サポート医 浜田健水 先生	認知症サポート医師の先生から、認知症を医学的にわかりやすく解説します。
10月6日(火) 9:30~11:30	介護予防実践 その2 簡単介護予防体操と介護実習 健康運動指導士 広瀬 豊先生	今の筋力を保つために、簡単にできる体操を実際に体験してみます。
11月 10:30~15:30	施設見学	県内の高齢者を地域で支える施設におじゃまして、活動の様子をお聞きします。
12月4日(金) 13:30~15:30	認知症になってもだいじょうぶ！ ～認知症家族の会からのメッセージ～ 認知症家族の会 夕映えの会 藤田浩子先生	15年間の活動から、認知症の人・介護する家族、両者に送る温かなメッセージです。
1月25日(月) 10:00~12:00	高齢になってもだいじょうぶ！ シルバー生活を充実生活に！ 四国学院大学 島影俊英先生	高齢者としてよりよい生活を送るために、言葉のコミュニケーションだけでなく感情の交流が大切です。明日から役に立ちます。
2月	閉講式 まちづくりのために～介護サポート活動のご案内 綾川町地域包括支援センター	3人にひとりが高齢者です。...これからの介護サポーター活動や自分ひとりでもできる活動を話しあってみよう。

お願い：全コース続けて参加されることをお願いしています。
 受講後は綾川町介護予防サポーターに登録されます。

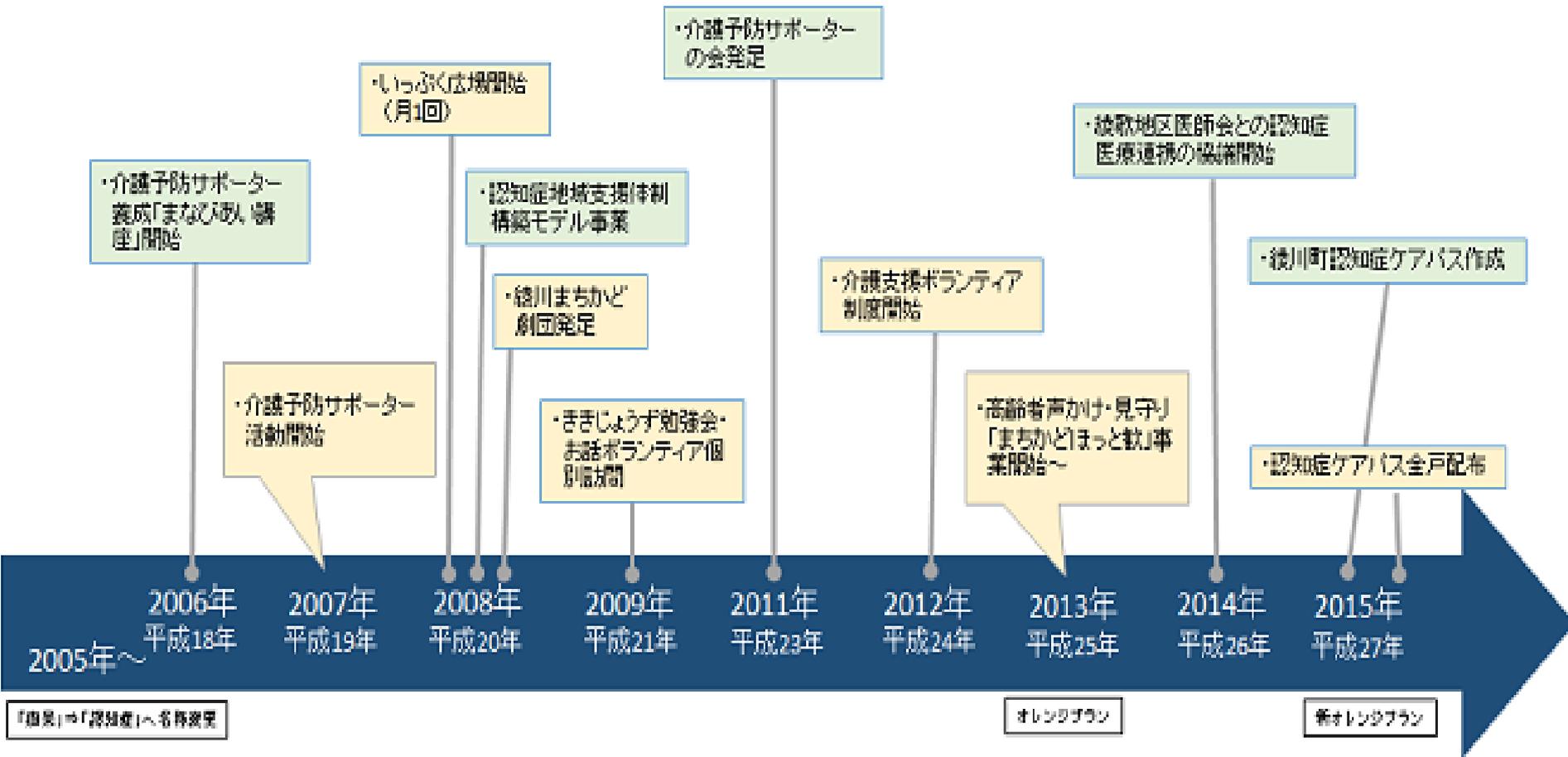
10年間で介護予防サポーターが約380名
認知症サポーターは約1000名

平成28年度も
30名が申し込み



【綾川町】経年的取組みの整理

- = 取組み体制の整備内容
- = 認知症に関する取組み・展開



介護予防サポーターの活動体制

サポーター運営委員会

小地域での活動

自治会などでの声かけ・見守り

いっぶく広場班

お話ボランティア班

資源マップ班

転倒予防班

サポーターへの活動連携

わくわくネットワーク

フォローアップ研修

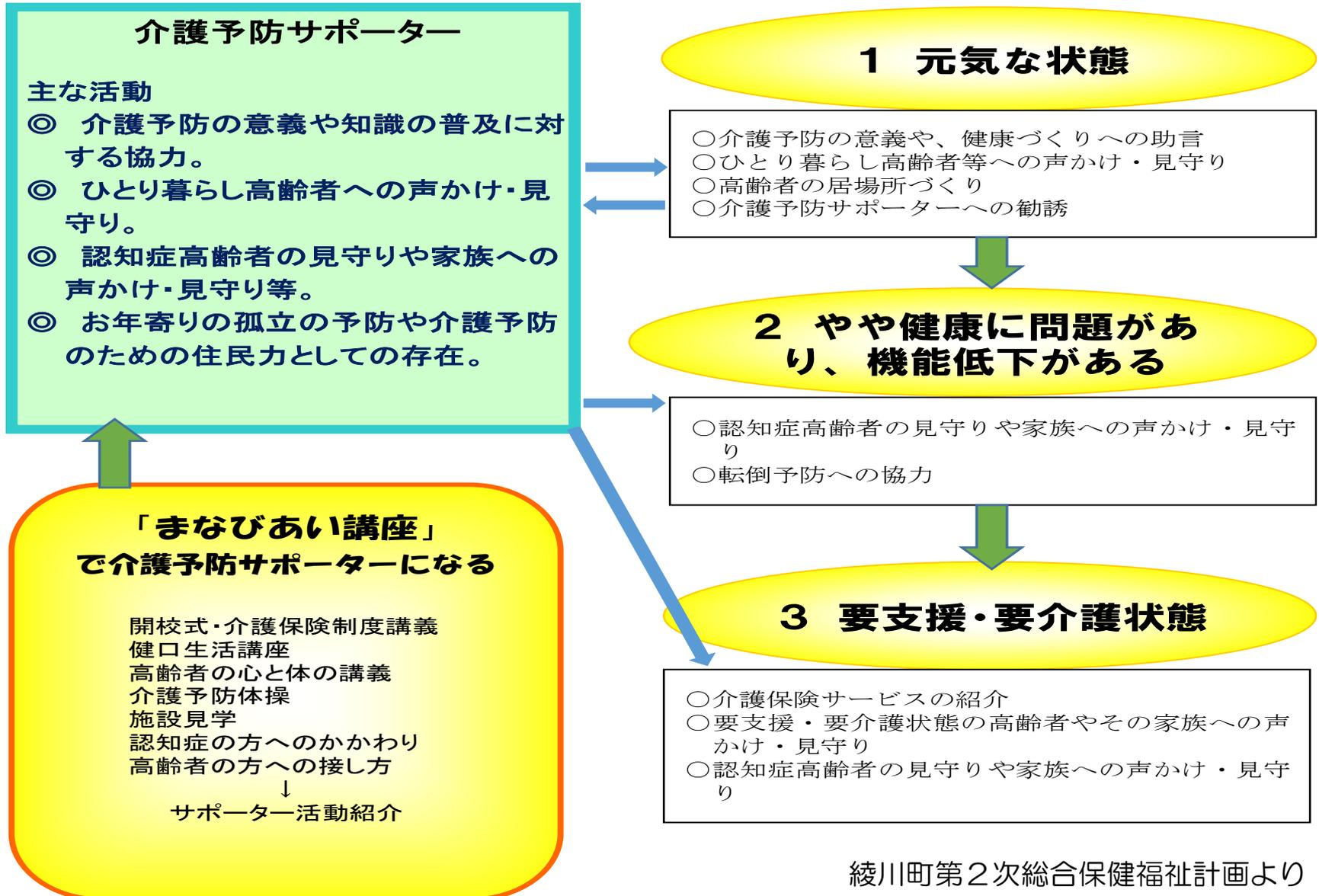
ステップアップ講座

啓発活動

綾川まちかど劇団

綾川町社会福祉協議会
いきいきサロン運営

高齢者の各健康段階での 介護予防サポーターの役割



Ⅱ 介護支援ボランティア制度の 導入

—さらに輪の広がりを—

広げる

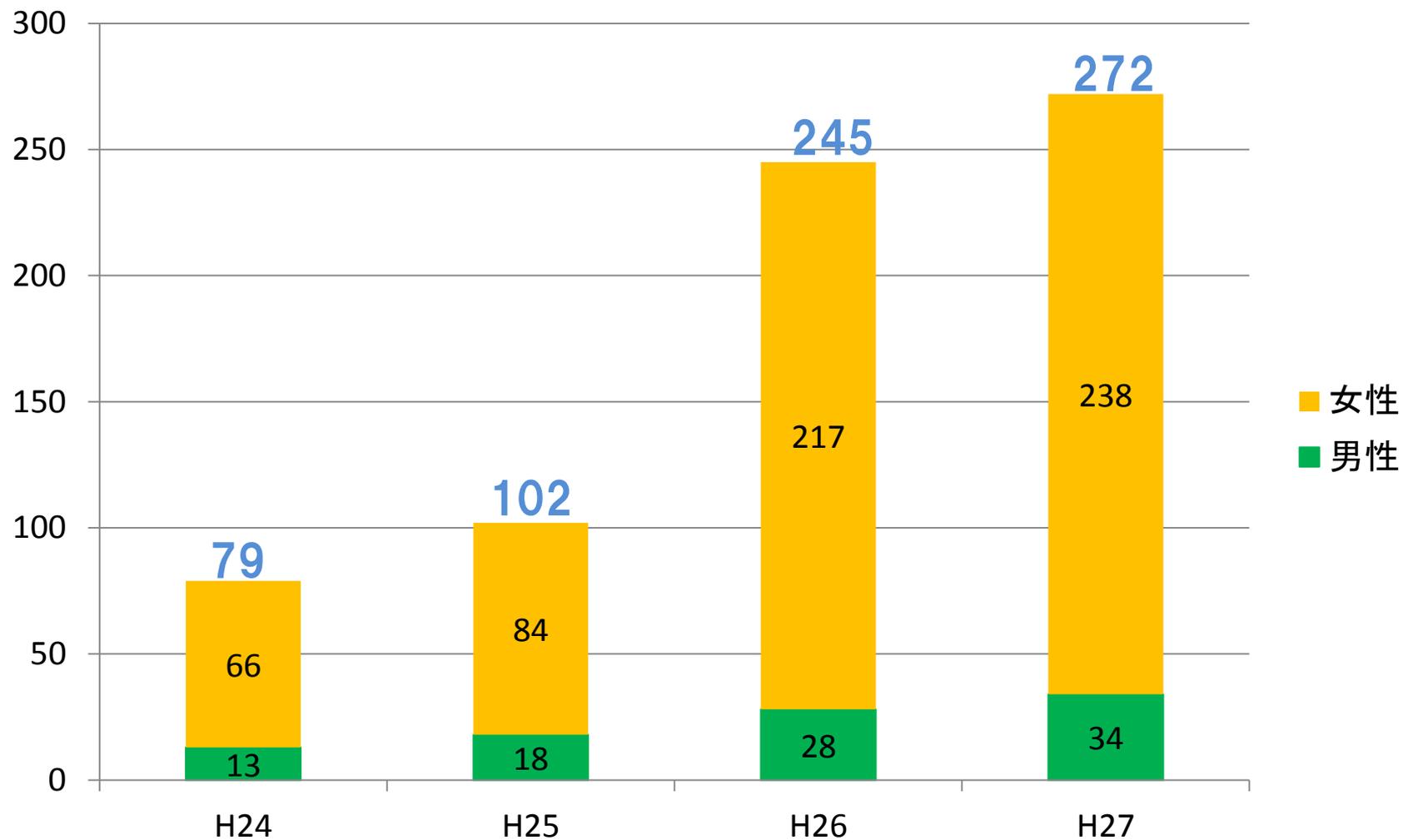
平成24年より介護支援ボランティア制度開始 活動終了後にスタンプ「ささえあい手帳」



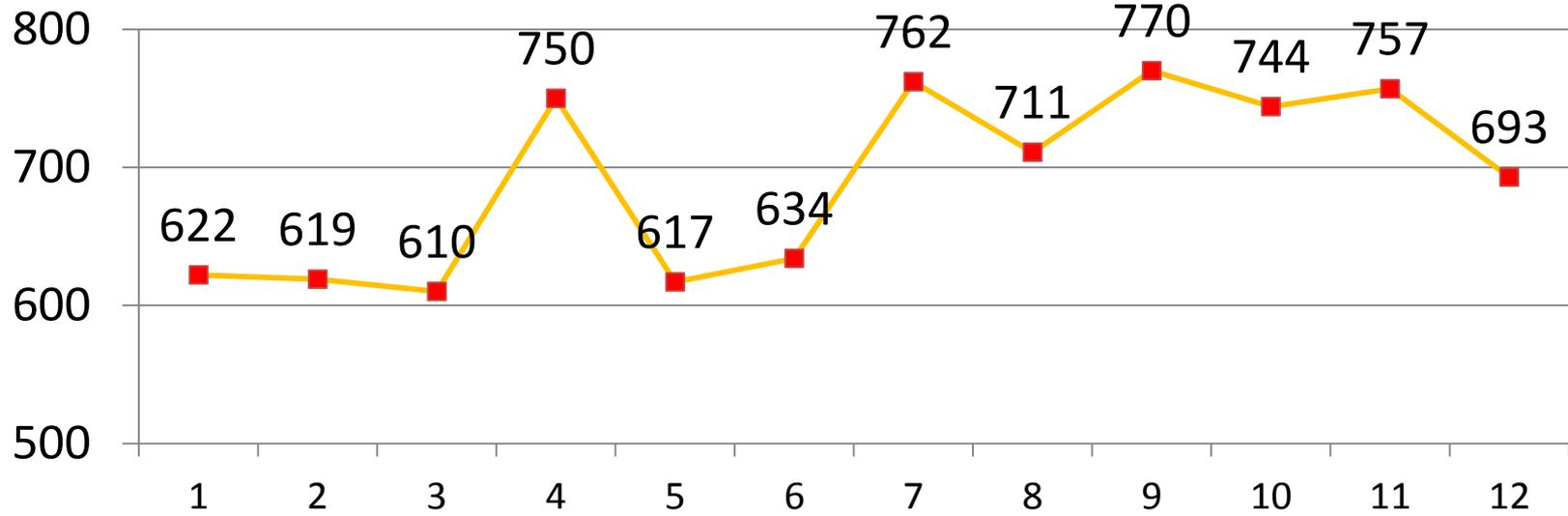
1時間の活動で1スタンプ
スタンプ数に応じて現金還元 一人年150スタンプ
=1万5千円まで



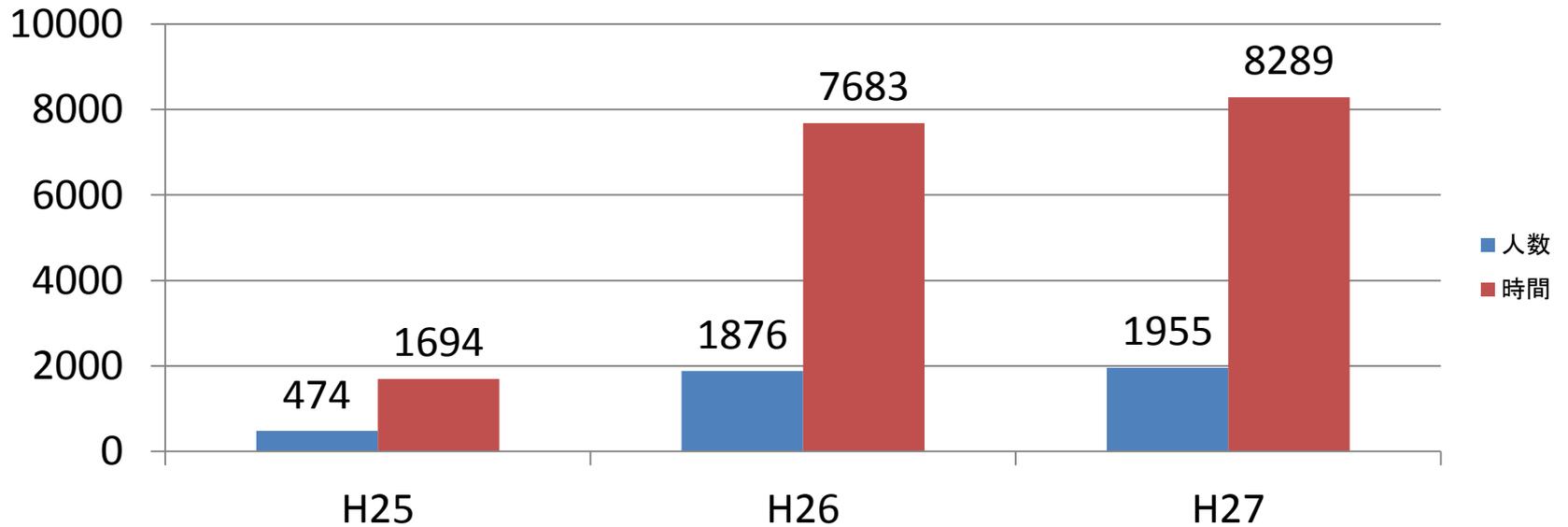
介護支援ボランティア登録者数の推移 (平成24年度～27年度末まで)



月別 スタンプ数



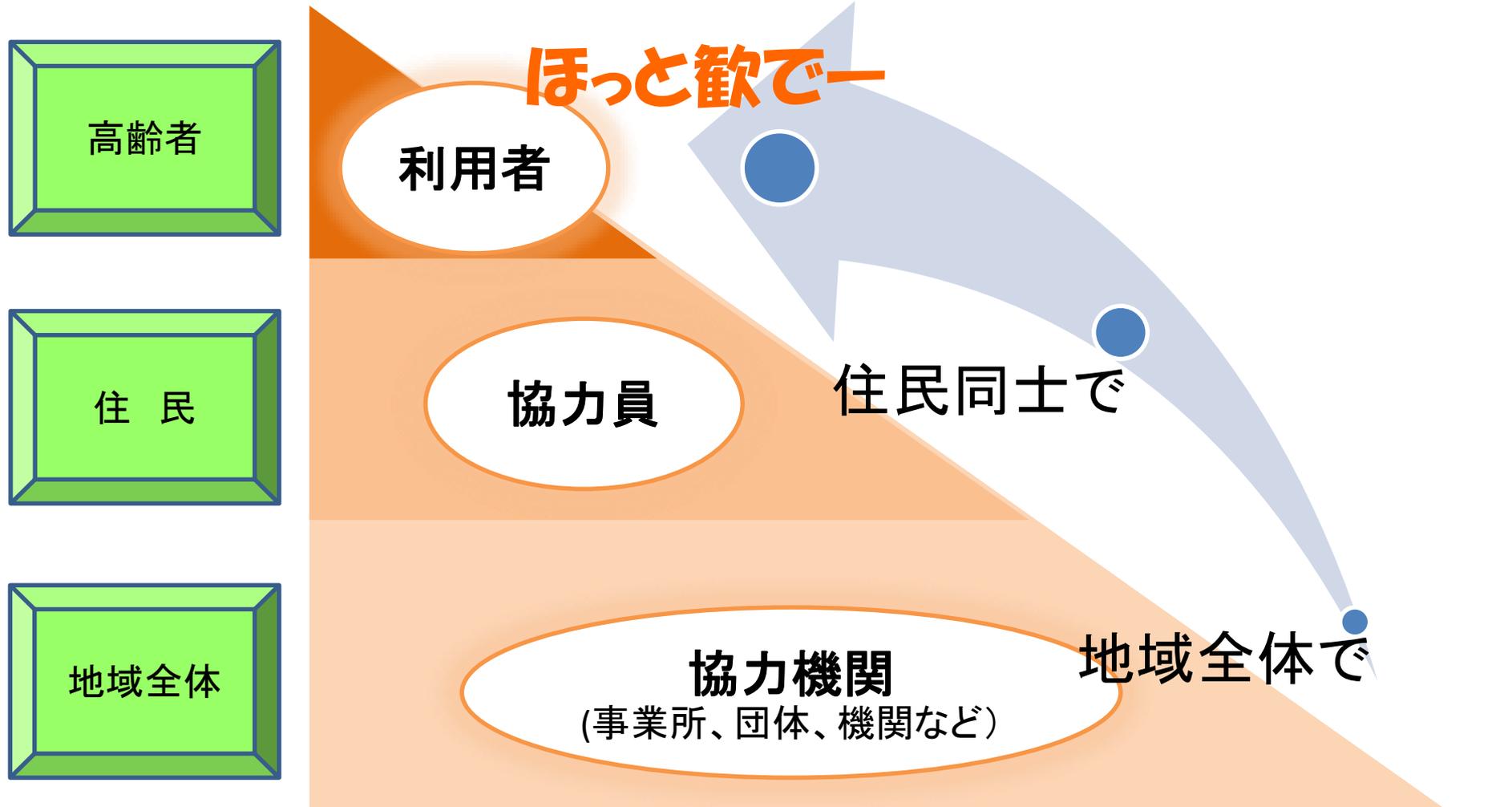
活動人数と活動時間(延べ)



Ⅲ 高齢者等声かけ見守り
「綾川町まちかどほっと歓事業」の展開
— 広がりから体制作りへ —

定着する

高齢者声かけ・見守り事業イメージ①

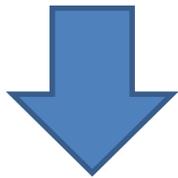


協力機関: 高齢者の支援にかかわる機関、団体及び事業所等で、まちかどほっと歓事業の趣旨に賛同したものをいう。協力機関は、その構成する者にまちかどほっと歓事業の趣旨等を周知し、声かけ・見守りを行うものとする。声かけ・見守りにおいて何らかの異変や相談があった場合は、地域包括支援センター、健康福祉課又は社協のいずれかに連絡することとする。

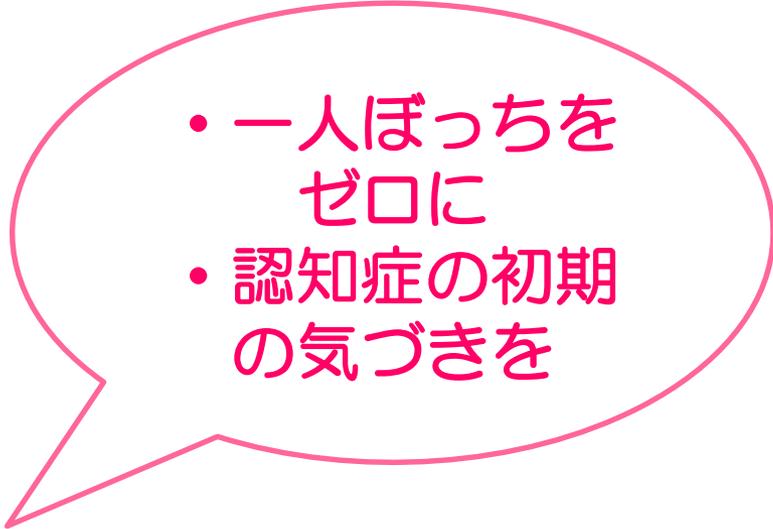
期待される地域住民組織

— 民生委員さんを中心に —

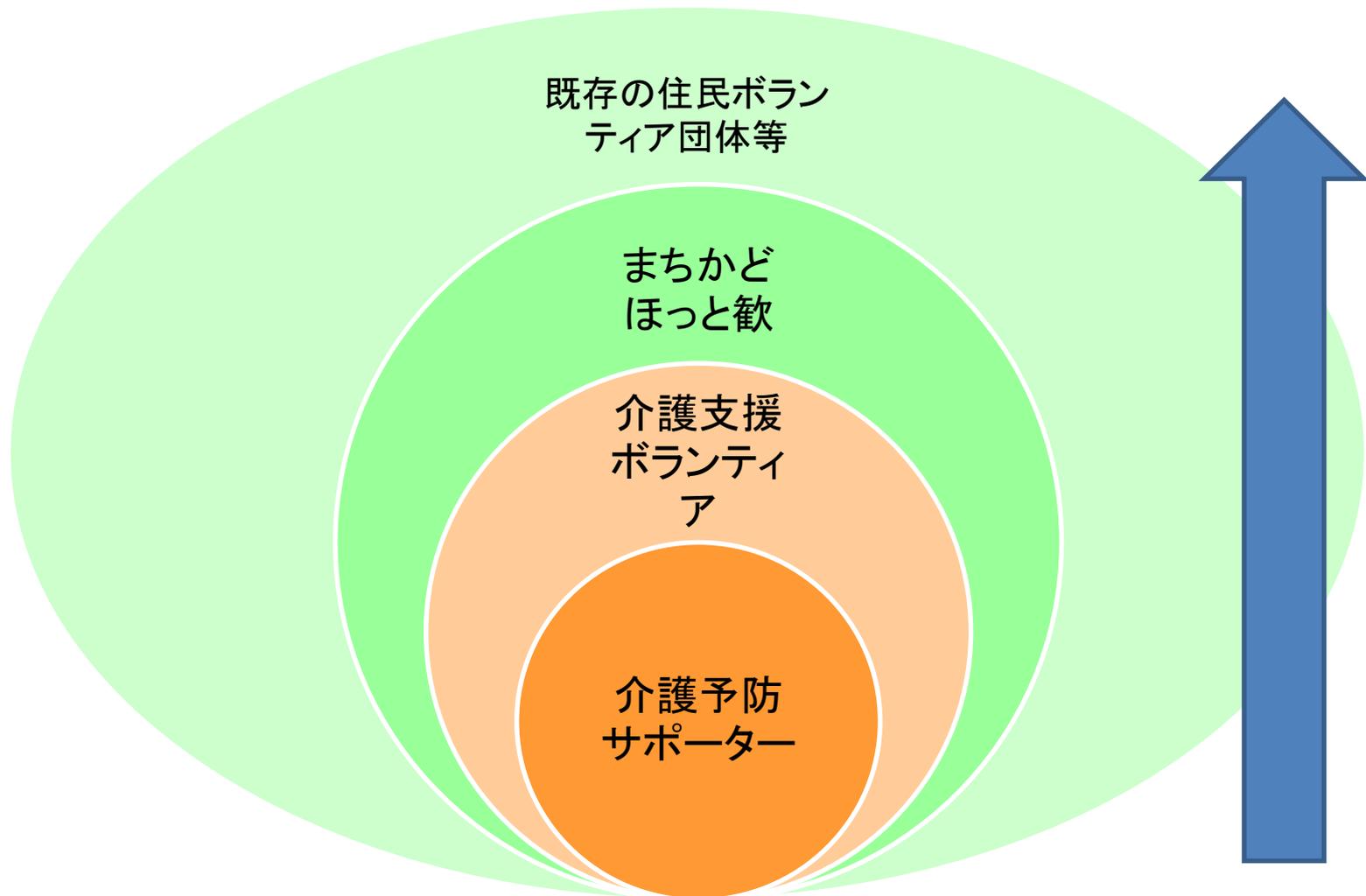
- 介護予防サポーター
- 老人クラブ連合会
- 婦人会
- JA女性部・
- その他ボランティア団体



- 協力員の登録、小地域ごとの**ほっと歓チーム**編成

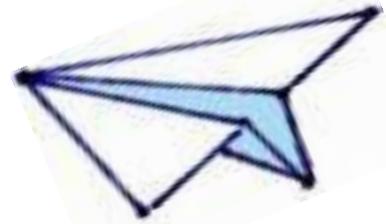
- 
- 一人ぼっちを
ゼロに
 - 認知症の初期
の気づきを

サポーターを核とする 住民力・地域力の充実に向けた流れ





協力員の役割



- **日ごろの緩やかな見守り**
- 担当した高齢者の定期的な見守り
- **異変の気づきを連絡**
- 認知症徘徊高齢者**ほっと歓メール**への登録
- 支えあいフォーラムなど研修会への参加
- 身近な人への協力員登録への声かけ
- **個人情報の守秘**



バッジを装着し、町ぐるみでPR

協力機関、協力員、役場、社協職員、民生委員、婦人会、老人クラブ、介護予防サポーター等)に配布しています。

バッジをつけて



シンボルマーク

一人ぼっち
をゼロに



まちかどほっとと歓事業イメージ図 ②(28.5月末)

見守り希望者

綾川町民で65歳以上の一人暮らし、または65歳以上の者のみで構成される世帯の方でまちかどほっとと歓事業の声かけ・見守り活動について承認した者



高齢者



定期的なお話し相手は介護支援ボランティア制度でマッチング

協力員



町に協力員として登録し地域の高齢者に対し、声かけ・見守りを行っている者

協力員

203名

相談・連携・支援

担当民生委員

担当ケアマネジャー等



社協担当制

社会福祉協議会

連携

地域ケア会議

地域包括支援センター

連携

役場健康福祉課等

相談・連携・支援

困難事例は必要に応じて専門職、ボランティア、家族、当事者、行政が集まり地域ケア会議を開催。

協力団体

町内に所在する公共的な活動をする団体で、まちかどほっとと歓事業の趣旨に賛同した団体

協力事業所

町内で事業活動を行う事業者で、まちかどほっとと歓事業の趣旨に賛同した事業所

老人クラブ連合会 婦人会 自治会

JA女性部 介護予防サポ

いきいきサロン 各種ボランティア

各団体での声かけ・見守り及び協力員登録への協力

52機関

保険関係事業所 郵便局

商店 民間事業所等

異変などがあれば社協、包括へ連絡

協力機関

高齢者の支援にかかわる公共的な機関等で、まちかどほっとと歓事業の趣旨に賛同した機関

警察

消防

地区医師会

民生児童委員協議会

連携

日ごろの連携に加えて必要に応じて地域ケア会議に出席。

まちかどほっと歓事業のこれまでの流れ

- 平成25年事業開始、6箇所モデル
- 平成26年 協力員、協力機関募集開始
- 平成27年5月 地区別顔合わせ会81名
- 平成27年11月 地区別マッチング会議98名

→マッチング台帳作成

- GIS要援護システムでのマップ化
- 平成27年2月

高齢者支えあいフォーラム2016開催162名参加

- 平成28年5月 地区別会議



全町30グループによるアクションミーティング

高齢者ささえあいフォーラム
2016開催される！

2016/02/11 15:53

28.2.11 ささえあいフォーラムのひとこま3

2年半にわたって一人暮らしで認知症のMさんを

支え続けている**チームM**の皆さん

サポート医

かかりつけ医

包括

ヘルパーさん

友人(サポーター)

介護事業所

民生委員

息子さん

ケアマネジャー

事例提供をすご家族と
ケアマネジャーの三村さん



ほっと歓事業に取り組んで

- チームで関わりと一人暮らしの認知症の人も安心して**その人らしく暮らせることを住民も専門職も実感**
- 社協が地区担当制を開始：
つながるんジャー→社協が元気に
- 買い物サービス→買い物難民の解消、
生きがいデイサービスの広がり
- 徘徊高齢者ほっと歓メール配信事業→協力員の役割の明確化、まちぐるみの意識啓発
- ほっと歓会議の積み重ね→平成25年9月から約40回の会議→今後の総合事業の基礎に



10年ひと昔、10年ひと未来



認知症地域支援体制構築の事業展開と 包括の果たしてきた役割と手法

- **養成** →まなびあい講座 →
- **フォロー** →ステップアップ講座
- **組織** →規約、班体制
- **フォロー** →運営委員会
- **拡大** →介護支援ボランティア制度導入
- **フォロー** →いきいきサロンボランティアポイント化
- **体制**(定着) →高齢者声かけ・見守りまちかどほっと歓事業
- **フォロー** →マッチング、チーム作り、配信メールなど

グループワーク
モデルの実施
プロジェクトチーム
日常活動



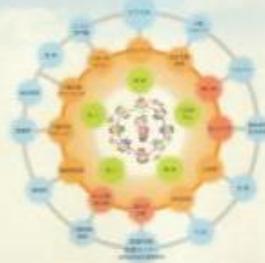
IV わが町の認知症ケアパスと その活用

考え、動く

認知症でもだいじょうぶなまちに **認知症ケアバス**

地域包括支援センター

あなたの支え合いネットワークづくりを応援します



認知症ケアバスとは認知症になっても安心して住み慣れた地域で暮らし続けるための通称です。人生を何事か行くと見えるなら、たとえ認知症になってもその人らしく暮らしを続けて暮らしていくことをめざすバスに乗って、自分で支え合いながら、人生の旅を続けましょう。内容についての詳しいお問い合わせは地域包括支援センターまでお願いいたします。



藤川町



認知症でもだいじょうぶなまちに



早期診断
早期対応

認知症になっても楽しく 豊かに安心して暮らすために

日常の暮らしでの発見と気づき

相談から診断

サービス利用 (介護保険のサービスと地域のいろいろなサービスを利用しよう)

あれっ 地域で
認知症かな? と思ったら

地域包括支援センターに
早めに相談しましょう

*綾川町認知症医療連携シートを利用

医療で

かかりつけ医
認知症サポート医
認知症疾患
医療センター

介護で

福祉で



まずは
受診、診断

確定診断

介護認定

サービス
担当者会議

介護予防サポーター (認知症サポーター) とは認知症を正しく理解し、認知症の人やその家族を見守り、応援する人のことです。町で養成講座を行っています。

みんなで介護予防サポーターや認知症サポーターになっておこう

認知症集中支援チーム (地域ケア会議)
地域包括支援センターが開催
からだ・心・暮らし方・環境等の状況を確認しながら、よりよい対応についてみんなで話し合います。

一人じゃやらないで
抱え込まないで

行動・心理症状で困ったときは



認知症は恥ではありません。今は誰もが認知症になるか接することになる社会です。

認知症は大脳の障害によって認知機能が低下し、社会生活に支障をきたすようになった状態を言います。

認知症は適切な治療やケアによって進行を抑えたり、症状を軽減させます。

認知症の人と接するときの10のヒント

その人の人生の集大成の時期、一人ひとりのストーリーと なじみを大切にしながら、本人・家族・地域と専門職がともに



認知症になっても



認知症は病ではありません。今は誰もが認知症になる可能性があります。

認知症は病ではありません。今は誰もが認知症になる可能性があります。

認知症

その人の人生の集大成の時期、一人ひとりの人生

安心して暮らすために



- ① サービス
- ② サービス
- ③ サービス
- ④ サービス
- ⑤ サービス
- ⑥ サービス
- ⑦ サービス
- ⑧ サービス
- ⑨ サービス
- ⑩ サービス

認知症の人と暮らすと楽な10のヒント

認知症の人と暮らすと楽な10のヒント

認知症の人と暮らすと楽な10のヒント

早期診断・早期対応のために

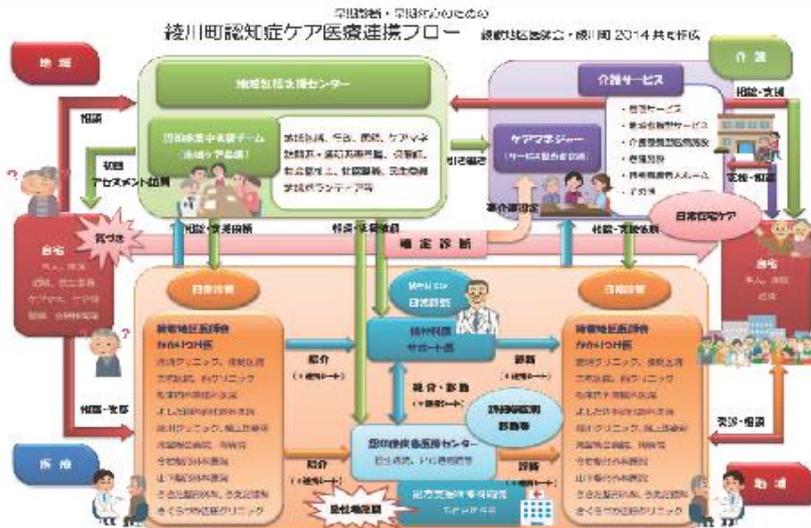


綾歌地区医師会からのメッセージ

安心してご相談ください。住み慣れた綾川町で暮らし続けるために、医療と介護と住民の皆さんが力を合わせて綾川町ならではの地域包括ケアシステムを作っていきましょう。

認知症医療連携 サポート医とかかりつけ医が連携しています。

綾川町では認知症医療連携のための手順やシートを綾歌地区医師会の協力を得て作成しています。



認知症相談 認知症サポート医による相談です。

日時 毎月第2水曜日（祝日の場合は第3水曜日へ変更）
午後2時～午後4時（予約制）一人30分程度

場所 満洲クリニック 心療内科

医師 認知症サポート医*

お問い合わせ、相談ご希望の方は地域包括支援センターまでお申し込みください。

*認知症サポート医とは

認知症の人の診療に熟練し、かかりつけ医への助言
その他の支援を行い、専門医療機関や地域包括支援
センター等との連携の推進役となる精神科専門医の
ことです。

気になることがあれば… **まずご相談を**

綾川町地域包括支援センター

☎087-876-1002（直通）

〒761-2103 香川県綾歌郡綾川町陶1720番地1（えがお内）

認知症でもだいじょうぶ駅行き



綾川町での認知症ケアパスの活用について

- 町の認知症施策の方針を伝える**道具**として
- 認知症、認知症ケアの正しい捉え方、あるべき姿の**指標**として
- 町の認知症相談窓口の**案内役**として
- 認知症サポーター養成講座の**資料**として
- 町の資源**マップ**として
- 個別地域ケア会議の際の**検討用紙**として

IV 認知症施策における 医師会との取り組み

綾川町認知症ケア医療連携について

◆平成26年度

- 6月より綾歌地区医師会との打ち合わせ開始
 - 認知症ケアパス策定検討会にて協議
 - 綾川町認知症ケア医療連携フロー図を作成
 - 綾川町認知症医療連携シート(相互版)を作成
 - 認知症相談を開始
- 月1回第2水曜日（祭日等と重なった場合は第3水曜日）
14:00～16:00 一人30分程度 要予約

- 認知症講演会開催

◆平成27年度

- 認知症ケアパス全戸配布
- 認知症対策委員会(毎月1回)

◆平成28年度

- 初期把握シートの共同作成
- 症例検討会の開催（多職種）1/2ヶ月



私の「ない」 今、思うこと

- 住民力をあなどらない。
- 思いこまない。まずは聴くこと。
- 経験にとらわれない。
- 学習を怠らない。
- 悪者を作らない。
- ソーシャルワークの対象は住民だけではない。
- 何のためかを忘れない。
- あきらめない。こだわらない。
- 連携は一つのリングだけではない。
- 4文字熟語に頼らない。

♥ 一つ一つの事例を丁寧に
地域の好事例を積み上げていこう。



滝宮天満宮飛び梅

早期診断
早期対応

認知症になっても楽しく 豊かに安心して暮らすために

日常の暮らしでの発見と気づき

相談から診断

サービス利用 (介護保険のサービスと地域のいろいろなサービスを利用しよう)

あれっ
認知症

地
早
芸
能

日こ
人との
を大切に

介護予防サポーター (認知症サポーター) とは認知症を正しく理解し、認知症の人やその家族を見守り、応援する人のことです。町で養成講座を行っています。

みんなで介護予防サポーターや認知症サポーターになっておこう

医療で

認知症医療連携についての詳細は裏表紙に紹介しています。

医療連携シートを利用

かかり医

認知症疾患
医療センター

精神科
専門病院

介護で

福祉で



医療・介護・地域がいっしょに

明日 (tomorrow) もっと 笑顔

ご清聴ありがとうございました。

その人の人生の集大成の時期、一人ひとりのストーリーと なじみを大切にしながら、本人・家族・地域と専門職がと